



一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団 第二次中期経営プラン（概要版）

すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために ～ 地域に根差し、地域を超えて ～

平成 28（2016）年 6 月

プランの枠組み

■プランの期間

平成 28 年度～平成 30 年度

■プランの基本的考え方

[組織運営]

- スリムでしなやかな中間支援組織として維持存続

[事業のあり方]

- 経営環境の変化に対応して実施事業のテーマを重点化

[財政運営]

- 安定した収益構造への転換へファンドレイジングにチャレンジ

■具体的な成果目標

[効果的な事業展開]

- 講座受講者の満足度
.....5 ポイント増
- 自治体・大学等の受託事業
.....2 件増

[施設機能の向上]

- ドーンセンター利用率(合計)
.....0.9 ポイント増
- イコーラム入館者数
.....5,000 人増

組織体制のあり方

- 理事の業務分担制を活性化
- 運営の核となる職員の育成
- モデル職場づくり
- 開かれた運営

プランの進行管理

H28 年度(2016)

H29 年度(2017)～

H30 年度(2018)～

プラン推進への着実な取組み
(責任体制・担当者の割振り)

・評議員改選(1人が任期満了)
・次期理事選定(H30年度～H31年度)

・イコーラム次期指定管理への対応(H31年度～)
・第三次経営プランの検討(H31年度～)

財団運営の基本方針

■基本理念・目的

「男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会に実現に寄与すること」を目的とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていく。

■運営のコンセプト「3つのC」

Continue 男女共同参画理念の<継承>

Collaborate さまざまな団体、機関との<協働>

Change 男女共同参画を阻む社会慣行や制度の<変革>

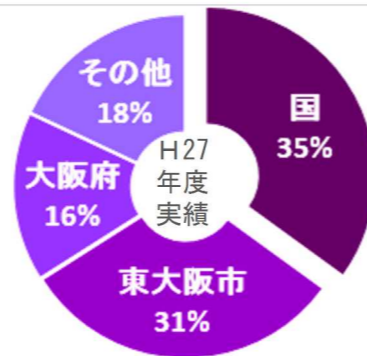
■スローガン

「すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために」
～ 地域に根差し、地域を超えて ～

プラン推進にあたっての留意点

- 男女共同参画に関する行政施策
- 「女性の活躍」「女性の地位向上」をめぐる国際潮流と民間の取組み
- 社会・経済の動向
- 「大阪副首都構想」の行方
- 公的団体による委託事業の動向

[参考]
収益の受託先別比率



当面の事業実施戦略

■二大テーマを重点に展開

「はなみずき女性支援センター」事業を軸に

困難な状況に置かれた女性の支援

～ 女性が活躍できる社会への底上げ ～

働く女性のエンパワメント

～ ネットワーク拡充・財団の存在価値アピール ～

■男女共同参画センター施設機能の向上

- ドーンセンター利用率の向上
- 東大阪・イコーラム入館者数の増加



継続事業の取組み

- 公益目的事業
- 大阪府受託事業
- 国の受託事業
- 大学・教育機関・自治体受託事業

収支の目標

- ファンドレイジング戦略の可視化
- 正味財産減少額の抑制

[プラン期間の収支試算] (単位：千円、H27 年度は実績)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
当期収益	269,606	235,020	235,020	235,020
当期費用	260,920	246,199	246,199	246,199
当期正味財産増減額	12,116	△ 11,179	△ 11,179	△ 11,179
期末正味財産額	173,630	162,451	151,272	140,093

* H28 年度以降の当期正味財産減少額 (△) は、公益目的支出計画による支出相当額